

平成 22 年度事業報告

I. 平成 22 年度通常総会および特別講演の開催

日 時 平成 22 年 5 月 13 日 (木) 10 時～15 時 5 分

場 所 千葉市中央区市場町 11-2

千葉県文化会館小ホール

内 容 10:00～10:40 総会式典

10:40～12:10 特別講演

「管理栄養士・栄養士の新たな課題と取り組み」

—国際栄養士会議・法人設立 50 周年を終えて—

(社) 日本栄養士会会長 中村丁次

13:30～15:05 総会議事

出席者 1,371 名 (うち委任状 1,217 名)

II. 事業の概要

平成 22 年度は、以下の事項を重点として実施した。

1. 千葉県の行う「健康ちば 21」および「千葉県食育推進計画」などの推進への協力
2. 栄養ケア・ステーション (以下: 栄養 CS) 事業の充実
3. 公益社団法人への移行に向けた運営の見直しと基盤の整備
4. インターネット・ホームページによる情報の提供
5. 栄養士・管理栄養士の資質の向上に関する各種事業の充実
6. 職域協議会事業の充実
7. 第二次組織強化長期計画の推進と会員の拡充
8. 収入の確保と経費の節減
9. 関係機関および関係団体との連携の強化

III. 事業の内容

1. 総務部

(1) 執行体制の強化

役員改選に伴い理事の役割分担のほか各種委員会の委員を新しく選任した。事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各部担当者会議、各種委員会などを定例的に開催した。「業務の手引き (全体編)」を改定し、第 3 回理事会で「諸規程集」他と共に役員に配布し、事業実施に当たっての要点および留意事項などの理解に努め共通認識に立った会務の円滑な執行に努めた。

平成 23 年度総会時に公益社団法人への移行に向けて定款の変更などの提案がで

きるよう公益法人移行対策委員会と組織財政問題検討委員会で合同会議を開催し、検討を進めた。

(2) 事務局体制の充実

業務の効率的・適正な運営を図り、会員管理および会員対応事務と各種事業の実施に伴う事務局業務の充実を図った。「平成 20 年公益法人会計」ソフトを導入して新法人移行への準備を進めて会計事務の適正化と省力化を図った。

(3) 栄養 CS 事業の充実

公益社団法人への移行に向けて、栄養 CS 事業推進委員会を 2 回開催し、公益事業の拡充強化と事業部および広報部で行っている各種の公益事業の充実を図り、栄養 CS 事業の充実に努めた。

① 新規事業の開始と検討

事業の見直しと各都道府県栄養士会などが行っている各種の事業を参考にして、新規事業の開始に向けた検討を行った。23 年度の公益事業の拡充強化に向けて(社)千葉県放射線技師会、(社)千葉県歯科衛生士会の役員と各種公益事業における相互協力について協議を行った。

② 「健康ちば 2 1」および「千葉県食育推進計画」などの推進への協力

「健康ちば 2 1」および「千葉県食育推進計画」などの推進に向けて広報部と協力して内容の啓発・普及に努めた。併せて、本会および会員の取組みの実態を会員に周知し、日常的に行っている食事の提供や栄養指導などの業務の拡充・強化を通じて、より多くの県民を対象に「健康ちば 2 1」や「千葉県食育推進計画」に基づく「食育」を推進した。

また、学術部、広報部と連携して会員の行っている先駆的な事例などを「千葉県栄養士会雑誌」などを通じて広報し、啓発活動の充実に努めた。

③ 講師紹介事業の拡充

講師等の登録の促進を図るとともに、生涯学習研修会などへの参加を勧奨して資質の向上に努めた。併せて、関係機関や関係団体への広報に努め事業の拡充を図った。

ア. 講師登録の推進

平成 22 年度分として平成 21 年度末に行った「講師登録」に加え、随時登録を受けるなど講師候補者の登録の推進を図り、「保健指導」や「介護予防」をはじめとする専門分野における講師（担当者）の確保に努めた。

イ. 研修の奨励と専門研修会の開催

「栄養千葉」などを通じて生涯学習研修会をはじめとする各種研修会への参加を勧奨した。

ウ. 各種依頼への対応と事業などへの登用

事業の広報に務め、講師依頼の増加を図った。引き続き、千葉市社会福祉研修センターにおける「セミナー」や(社)千葉県調理師会の行う各種研修会などに延べ41件の依頼に対し講師62名を紹介した。

④ 特定健診・特定保健指導への対応

保健指導対策委員会を2回開催し、健診・保健指導の実施状況を踏まえ必要な事項の検討および対応を行った。

平成22年度も学術部に協力し、日本栄養士会の委託事業を活用して保健指導担当者研修会を修了した会員を対象にスキルアップ研修会(11月27日、参加者89名)を実施した。また、2月10日、栄養CS(健診保健指導)研修会を29名に行い、2月17日、健診保健指導コーディネーター研修会を8名に行い指導技術、保健指導運営の向上に努め、関係団体や企業などと連携して人材の活用を図った。

⑤ 介護予防における栄養改善事業への対応

平成20年度に行った日本栄養士会のモデル事業における研修会修了者の講師等の登録を進めた。併せて、市町村包括支援センターにおける介護予防教室における栄養食生活支援や管理栄養士末配置施設に対する栄養改善サービスを提供するため、関係機関・関係団体へ積極的な働きかけを行い、事業の推進に努めた。

⑥ 無料職業紹介所の開設準備

栄養CS事業の拡充と栄養士の福利厚生、職域の拡充などの観点から、組織部と協力して無料職業紹介所の許可申請と運営に向けて必要な準備を行う予定であったが、諸般の事情によりできなかった。

(4) 優良会員の顕彰

関係機関などと連絡を密にして、優良会員の顕彰に努めた。日本栄養士会に優良栄養士として36名を推薦し、平成22年度全国栄養改善大会にて会長表彰を受けた。また、同大会で長谷川会長が栄養改善事業功労者として厚生労働大臣表彰を受賞した。

千葉県栄養改善大会において優良栄養士として2名が知事表彰を受賞した。また、38名を優良栄養士として会長表彰を行った。

(5) 協賛会員対策の推進

機関紙「栄養千葉」に優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。また、職域協議会の研修会における展示会の開催の促進を図った。日本栄養士会の賛助会員対策を参考にして本会の協賛会員対策の検討を行う予定であったが諸般の事情によりできなかった。

(6) 非常災害時支援体制の整備

特定給食施設の非常災害時に備えた体制の整備に役立つ情報の提供、地域住民に対する非常災害時の支援活動の方法の検討などはできなかった。

(7) 職域協議会事務担当者会議の開催

7月31日（土）本会事務所で開催した。午前は、「栄養士・栄養士会の課題と今後の取組み」、午後は、「法人制度改革の概要と本会の対応」の講演と「公益社団法人に向けた組織の強化と事業の充実について」のグループワーク研修を行った。その後、各種事業の円滑な実施を中心に職域協議会の運営に関し、担当別に分けた会議と全体会議を開催し各種業務の理解と周知に努めた。

(8) 組織財政問題検討委員会の開催

組織部と連携し、組織財政問題検討委員会を定例的に開催し、第二次組織強化長期計画の取りまとめと第三次組織強化長期計画（案）の作成を行った。

(9) 会費の自動振込みの促進

会費の早期納入、事務局作業の省力化と徴収時の事故防止の観点から、自動引き落とし依頼者の増加に努めたが、22年度会費引き落とし依頼者は、392名にとどまっており、今後とも職域協議会の研修会などを通じて自動振込み制度の周知に努め、利用の普及を図る必要がある。

(10) 財政基盤の強化

事務所の建設に伴い支出が増加し、公益社団法人への移行に向けて、財政基盤の強化が必要であることから、正会員および協賛会員の拡充に努めたが正会員数は21年度に比べ39名減少した。例年に比べ、退会者数は、変わらないが新入会者が減少した。

各種事業の経費の節減対策と事務局業務のより効率的な運営を推進し、財政基盤の強化に努めた。

(11) 栄養士職場問題対応委員会の運営

会員の職場における問題などについて、会員の立場に立って、問題解決に必要な支援を行っているが委員会の開催はなかった。

(12) 千葉支部運営への協力

千葉支部執行部と連絡を密にし、会議の定例開催、研修事業、公益事業など支部事業の円滑な執行に協力した。

(13) 日本栄養士会関係会議への出席

通常総会および法人会員会を始めとする各種関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

(14) 千葉県および関係団体の開催する各種委員会、催しなどへの参加

千葉県の行う各種の委員会に会長をはじめとする役員などが委員として委嘱され委員会に出席し、県の健康づくりをはじめとする各種施策の推進に協力した。

また、医療、健康づくりに関わる関係機関および関係団体と各種の組織を構成し、構成団体の一員として各種の大会などを催し、資質の向上を基に県民の健康づくり思想の高揚に努めた。

(15) 関係機関・関係団体などに対する渉外と関係者の慶弔

千葉県健康づくり支援課、千葉県教育庁学校安全保健課、教職員課、千葉県保健医療大学をはじめとする関係機関、顧問、千葉日报社、NHK 千葉放送局などの関係者に人事異動時、年始などのあいさつを行った。

平成 23 年 1 月 13 日（木）日本栄養士連盟千葉県支部と合同で開催した新年懇談会に、千葉県健康づくり支援課および千葉市保健福祉局健康部関係者、佐野彰顧問、(社)千葉県医師会ほか関係団体代表、協賛会員代表をお招きして懇談し、意思の疎通と親睦を図った。

また、会員及び関係者に対し、慶弔規程を基に必要な慶弔を行った。

(16) その他

① 法人設立 35 周年記念式典・祝賀会の開催

法人設立 35 周年を迎えたことから、以下により記念式典・祝賀会を開催した。

期 日 平成 22 年 10 月 21 日（木）

場 所 千葉市・京葉銀行文化プラザ

内 容 式典・祝賀会

参加者 会員 153 名、来賓 24 名、協賛会員（33 社）43 名 計 220 名

② レクリエーション保険・賠償保険への加入

会議や本会が主催する各種の事業などに関わる会員、参加者が「けが」などをした場合の傷害補償として三井住友海上火災保険(株)と行事参加者傷害保険契約を結び万が一の事故り補償に備えた。また、行事等で本会の責任を問われた場合に備え賠償保険（最高限度額 1 億円）に加入した。

③ 公益法人検査への対応

11 月 18 日（木）に県健康づくり支援課健康ちば推進室の公益法人検査を受けた。不備等指摘のあった事項については、改めた。

④ 栄養教諭の配置促進に関する活動

平成 22 年 12 月 22 日（水）栄養教諭免許取得者の栄養教諭への任用替えと市町村学校栄養職員の栄養教諭への門戸を広げる要望を県教育庁学校安全保健課、教職員課をとおして行い、要望書を千葉県教育委員会教育長へ提出した。12 月 28 日には、千葉市教育委員会教育長へ要望書を提出した。

⑤ 公益社団法人移行に向けた相談

公益社団法人への移行に向け、不明な点について会長、総務部長、事務局長等が関係機関および関係団体へ出向き相談した。

会議の開催状況（理事会、部長会）

1. 理事会

第 1 回 4 月 3 日（土）

- 平成 21 年度収支決算報告及び監査報告について
- 平成 22 年度予算案について
- 平成 22 年度通常総会の運営について
- 平成 22 年度生涯学習研修会の開催について
- 日本栄養士会会長表彰候補者の推薦について
- 新公益法人への移行について
- その他

第 2 回 5 月 13 日 (木)

- 平成 22・23 年度役割分担および顧問・参与の委嘱について
- 平成 22・23 年度各種委員会委員の選任について
- 平成 22 年度生涯学習研修会の開催運営について
- 平成 22 年度事業の執行および事業・会議等予定について
- 新公益法人への移行について
- その他

第 3 回 7 月 17 日 (土)

理事研修「公益法人制度改革への対応について」

講師 ペリージョンソンコンサルティング(株) 林隆

- 平成 22 年度事業の執行について
- 公益社団法人移行について
- その他

第 4 回 9 月 4 日 (土)

- 新人研修会の開催運営について
- 実践保健指導・栄養指導ブラッシュアップセミナーの開催運営について
- 平成 22 年度会長表彰者の決定について
- 千葉県栄養改善大会の開催運営について
- 健康づくり栄養フェスタ 2010 の開催運営について
- 法人設立 35 周年記念式典・祝賀会の開催について
- 千葉県栄養改善学会の開催について
- 公益社団法人への移行対策について
- 特定健診・保健指導事業の推進について
- レクリエーション傷害保険・賠償保険について
- その他

第 5 回 1 月 13 日 (木)

- 千葉県栄養改善学会の開催運営について
- 平成 23 年度通常総会の開催について

- 定款の変更および公益社団法人への移行の取組みについて
- 平成 22 年度収支見込について
- 平成 23 年度新規公益事業の検討について
- 特定保健指導の実施について
- その他

第 6 回 3 月 5 日 (土)

- 平成 22 年度事業報告について
- 平成 23 年度事業計画・予算案について
- 平成 23 年度通常総会の開催について
- 新公益法人移行準備について
- 第三次組織強化長期計画 (案) について
- 平成 22 年度収支見込について
- その他

臨時理事会

- 定款変更案および役員の報酬等に関する規程の制定について
- 平成 23 年度事業の一部変更について
- 平成 23 年度予算案について
- その他

2. 部長会

第 1 回 5 月 7 日 (金)

- 平成 22 年度通常総会の開催運営について
- 平成 22・23 年度役割分担および顧問・参与の委嘱について
- 平成 22・23 年度各種委員会委員の選任について
- 平成 22 年度生涯学習研修会の開催運営について
- 平成 22 年度事業の執行について
- 新公益法人への移行について
- その他

第 2 回 6 月 19 日 (土)

- 平成 22 年度事業の執行について
- 公益社団法人への移行について
- その他

第 3 回 8 月 28 日 (土)

- 新人研修会の開催運営について
- 実践 保健指導・栄養指導ブラッシュアップセミナーの開催運営について
- 千葉県栄養改善大会の開催運営について

- 健康づくり栄養フェスタ 2010 の開催運営について
- 法人設立 35 周年記念式典・祝賀会の開催について
- 千葉県栄養改善学会の開催について
- 公益社団法人への移行対策について
- 特定健診・特定保健指導事業の推進について
- その他

臨時部長会 10月2日(土)

- 法人設立 35 周年記念式典・祝賀会の開催運営について
- 公益法人移行に伴う諸規程の見直しについて
- その他

第4回 12月4日(土)

- 千葉県栄養改善学会の演題確保と開催運営について
- 平成 23 年度通常総会の開催について
- 新公益法人への移行について
- 平成 22 年度収支見込について
- 法人検査結果への対応について
- その他

第5回 2月26日(土)

- 平成 22 年度事業報告について
- 平成 23 年度事業計画・予算(案)について
- 職域協議会、千葉支部規約の検討について
- 平成 23 年度通常総会の開催について
- 新公益法人への移行準備について
- その他

2. 事業部

「健康日本21」および「健康ちば21」、「千葉県食育推進計画」をはじめとする国や千葉県などの健康づくり施策などを踏まえ、関係機関、関係団体などと協力して千葉県栄養改善大会を開催するほか、新たな事業として「健康づくり栄養フェスタ2010」を開催した。

引き続き千葉県から「『健康ちば協力店』推進事業」を受託し、飲食店などにおける外食料理の栄養成分表示の促進と「健康ちば協力店」の普及に努めた。

これらの事業のほか、①食育・健康料理教室の開催、②(社)千葉県調理師会が行う調理師試験対策事業等への協力、③NHK「ひるどき情報ちば・千産千消の食生活『食と健康』」放送への協力などの事業を実施し、県民の食生活の改善を推進した。

(1) 第41回千葉県栄養改善大会の開催

県民の健康づくり意識の高揚を図ることを目的として、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会との共催により、千葉県他の後援を得て開催し、式典及び特別講演を行った。

式典は、栄養改善功労者に対する知事表彰及び主催団体の優良会員の会長表彰などを行い、特別講演は、主催団体会員の資質の向上と「健康ちば21」などの健康づくり運動の推進に役立つ内容を取り上げて行った。

日 時 平成22年10月21日（水） 午後1時30分～4時

会 場 千葉県教育会館大ホール

内 容 式典（栄養改善関係功労者の表彰）

知事表彰 優良栄養士 2名

会長表彰 優良会員 38名

特別講演

「食べることは生きること」

講師 東京歯科大学衛生学講座 主任教授 松久保 隆 先生

参加者 480名

(2) 健康づくり栄養フェスタ2010の開催

全国糖尿病週間に合わせ、自らが食生活の正しい知識を持ち実践できるための支援を目的に、「健康づくり栄養フェスタ2010」を開催した。

日 時 平成22年11月6日（土）10時～15時30分

場 所 センシティタワー南北通路（千葉市）

内 容 各種測定・健康相談・ミニイベント・展示

参加者 1194名（各コーナーへの参加者合計）

(3) 健康ちば21、食育推進計画などの推進への協力

① 国および県の策定した健康づくり施策への協力

「健康日本21」および「健康ちば21」、「千葉県食育推進計画」などの内容と本会の取り組みを会員に周知し運動を推進した。

会員の職場および地域における業務の充実を通じて、県民に対する食生活の改善や食育に関する働きかけを強化した。

② 健康ちば協力店推進事業の推進と23年度に向けた事業の見直し

引き続き千葉県から事業を受託し、主管課との十分な連絡のもと協力店登録事務などの円滑な実施を図るとともに、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会を開催し、普及方法の検討や構成団体の役割の確認と実施事業の紹介などを行い事業を推進した。

平成22年度の新規登録等処理件数は下記のとおり。

	新規登録	変 更	再交付	取 消
処理件数	16	14	35	22

平成22年度末における累計登録数は、924店である。

平成23年度からの事業の見直しに向けて、ワーキングが設置されて検討が進められた。

(4) 食育・健康料理教室の開催

前年度までの実施状況などを踏まえ、「食育・健康料理教室実施の手引き」の充実に努め、食育・健康料理教室推進委員会および講師合同会議を開催し、事業の意義や目的、教室の内容・運営方法の理解を深め、事業の円滑な実施と内容の充実に努めた。

講師は事前の講師登録者と地活会員などから選出し、地活会員、事業部理事、事務局職員、開催地市町村管理栄養士などと協力し、公益社団法人への移行を踏まえ開催地区9会場において地域の住民を対象に8月～2月の間に市原市、習志野市、船橋市、成田市、鴨川市、館山市、松戸市、千葉市（2か所）で開催し延べ176名が参加した。

千葉支部においても親子料理教室として2会場で開催し、27名が参加した。

(5) 日本栄養士会委託事業の実施

(社)日本栄養士会から委託事業を3種受託し、千葉支部、病院協議会との協力のもと実施した。

① 「実践 保健指導・栄養指導ブラッシュアップセミナー」

保健指導担当講習会終了者を対象にスキルアップ研修会として実施した。

日 時 平成22年11月20日（土）

場 所 千葉県立保健医療大学

内 容 基調講演、情報提供講義、事例発表、総合討論、意見交換等

参加者 89名

② 「食生活と食物油栄養に関する講習会」

千葉支部において「病態栄養研修会」として実施した。

日 時 平成22年12月10日（金）

場 所 千葉市総合保健医療センター

内 容 病態栄養に関する講演

参加者 116名

③ 「臨床栄養セミナー」

病院栄養士協議会が実施した。

日 時 平成22年7月24日（土）

場 所 千葉市・プラザ菜の花

内 容 新・糖尿病治療ガイドラインの概要と病態他

参加者 126名

(6) 国、県及び関係団体などの開催する健康づくり事業に対する協力

① がん予防展開催への協力

千葉県ほかの行う催しの開催に協力し、開催地域の行政および病院協議会会員の協力を得て、がんの予防に役立つパネルなどの展示とがんや糖尿病などの生活習慣病の予防に関する栄養相談などを行った。

日 時 平成22年9月11日（土）・12日（日）

場 所 千葉市（蘇我アリオ内）

内 容 パネル展示・栄養相談

② NHK千葉FM「ひるどき情報ちば・千産千消の食生活『食と健康』」への出演

引き続き、NHK千葉放送局の依頼をもとに千葉FM「ひるどき情報ちば・千産千消の食生活『食と健康』」と題した10分間の番組において、食と健康に関する話題を取り上げた、年間放送計画を基に会員が13回出演した。

(7) 関係機器、図書、教材などの紹介

総会および千葉県栄養改善学会のほか、新人研修会開催時に協賛会員による展示会を行うとともに、職域協議会研修会などの開催時の展示会開催の促進に努めた。併せて、機関紙「栄養千葉」などを活用して優良商品の紹介・普及に努めた。

(8) 日本栄養士会事業に対する協力

日本栄養士会の求めなどに応じて、会員の協力を得て栄養ケア・ステーションの運営などの事業の実施に協力した。

(9) 職域協議会事業の充実

総務部および学術部と協力して、理事会、部長会、職域協議会事務担当者会議などを通じて、職域協議会事業の充実に努めた。

(10) 各種事業への協力

① 調理師試験対策事業への協力

(社)千葉県調理師会の行う調理師試験受験準備講習会の開催に協力して、県内16会場へ延べ72名の講師を派遣した。

また、「平成22年度調理師試験問題・正解と説明」の作成を受託し、調理師試験対策委員の協力を得てとりまとめを行った。

② その他

関係団体および企業などの依頼を基に理事会などで検討して対応した。

3. 学術部

管理栄養士・栄養士が職場や地域において、健康増進・疾病予防の業務を行うために必要な知識の修得および技能の向上を図る目的で、日本栄養士会が定める生涯学習制度に準じた生涯学習研修会を実施し、専門的な知識・技術の習得に努めた。更に栄養改善技術の振興・普及のために千葉県栄養改善学会を開催した。

また、保健指導・栄養指導ブラッシュアップセミナーを開催し、特定保健・健診指導や栄養指導におけるスキルアップを目指した。

これらのほか、栄養指導研究所の体制の整備や情報提供の支援を行った。

(1) 生涯学習研修会の開催

日本栄養士会の定めた「生涯学習制度」による生涯学習研修会を開催した。

今年度は必須科目 2 単位を含め 12 単位を平成 22 年 6 月 6 日・26 日 7 月 3 日・25 日の 4 日間に亘って、千葉県立保健医療大学において実施した。受講者は、新規受講者 37 名、継続受講者 114 名、県外の受講者 2 名、聴講者 2 名合計 155 名、延べ受講者数は 1,247 名、取得単位は 1,247 単位（平成 21 年度 1,377 単位）、修了証明書交付者 4 名であった。

(2) 第 11 回平成 22 年度千葉県栄養改善学会の開催

栄養学の発展と栄養改善技術の振興普及を図り会員の知識・技術の向上を図るため、平成 23 年 2 月 5 日（土）千葉県立保健医療大学大講義室をメイン会場に、開催し会員 158 名、非会員 1 名が参加した。

会員による一般口演は 19 題で、分科会については昨年同様、4 会場（公衆栄養、臨床栄養、栄養・給食管理、栄養指導他）を設けた。

「より良い人間関係をつくるために」 ― 期待の認知と感情について ― と題して、千葉県立保健医療大学健康科学部歯科衛生学科准教授保坂誠先生の特別講演を行った。午後は文化講演で、「生物多様性と食 - 持続可能な社会を目指して」と題して千葉県立中央博物館副館長中村俊彦先生の講演を行った。学生ホールほかにおいて、協賛会員 39 社による優良商品の展示を行い、昼食時間帯には多数の参加者が足を運び盛況であった。

栄養改善学会終了後、顕彰審査会を開催して検討した結果、委員会として栄養改善奨励賞 2 題の口演を推薦し、平成 22 年度第 6 回理事会に提案し承認された。

・栄養改善奨励賞

口演 11 保育所給食における栄養アセスメント

○柴田晴代 大谷清美（千葉市保育所栄養士会）

口演 16 食に関する指導の充実をめざして～教職員との連携と保護者へのアプローチ～

○小安亜季（南房総市立朝夷小学校）井藤昌子 小林仁 酒井淳子 岩崎恵 伊藤真理 山口裕子 石橋恵（安房地区学校栄養士会）

(3) 保健指導・栄養指導ブラッシュアップセミナーの開催

保健指導のできる人材の育成することを目的として日栄の委託事業をこの講習会の内容として開催した。

日程は平成 22 年 11 月 27 日（土）、会場は千葉県立保健医療大学大講義室を主会場として、講演とグループワークによるセミナーを開催した。参加者は 89 名であった。

内容は情報提供の後、筑波大学の田中喜代治教授による体重管理のための運動を日常生活に取り入れるための指導の実際を学んだ。午後からはグループに分かれて運動指導に取り組んでもらうための方法について討議した。

(4) 優良図書の紹介

栄養千葉第 105 号に「食卓の生化学」「時間栄養学(時計遺伝子と食事リズム)」「栄養学研究の最前線」「発酵食品の魔法の力」を掲載した。

栄養千葉第 106 号に「食事摂取基準入門 そのころを読む」「管理栄養士国家試験の傾向と対策」「地域食材大百科」を掲載した。

栄養士業務遂行上必要であると判断した図書を、栄養改善学会などの機会をとらえて紹介した。

(5) 栄養指導研究所の運営と研究開発および普及

栄養指導研究所の運営および事業は、栄養指導研究所運営委員会及び協力者合同会議を開催し、事業の実施をした。研究開発および普及については、栄養改善学会の充実に努めた。

また、栄養千葉から学術関係の記事を分離した千葉県栄養士会雑誌の編集に協力した。

4. 組織部

組織部は、組織の基本となる会員を拡充するための対策として、施設名簿などから未加入栄養士への入会の勧奨を行った。

また、継続会員の確保を図るため職域協議会の協力を得て会費の早期納入と未納者の納入に努めた。

新人研修会は、昨年度に行ったアンケートの結果を踏まえて開催し、新人会員の職業人としての知識・技術の向上と意識の高揚に努めた。

(1) 会員の拡充

① 会費未納者に対して継続入会の働きかけを行い継続会員の確保に努めた。

② 施設名簿などによる未加入栄養士への入会勧奨

例年7月の会議終了後に行っていた未加入栄養士への会員勧奨について、4月の理事会後に病院・福祉の施設名簿をもとに入会案内を発送し、9名の入会申し込みがあった。

③ 県内の4栄養士養成施設に「入会のおすすめ」を送付して、新卒者の入会の勧奨に努めるとともに、行政協議会会員の協力を得て、新卒栄養士や未加入栄養士の入会勧奨に努めた。

(2) 職域協議会組織担当者会議の開催

各職域協議会の組織担当者を対象に年1回の会議を開催し、職域協議会毎の入会勧奨や会員拡充のための情報交換、組織強化対策、新人研修会の運営などについて協議・検討した。

(3) 新人研修会の開催

第9回新人研修会を千葉県栄養士会事務所を会場として、9月18日(土)開催し

た。参加は 12 名であった。

〈研修内容〉

- ① 「千葉県栄養士会の組織と事業及び 7 協議会の活動などの紹介」 高澤総務部長
- ② 「専門職として成長するためのポイント」 長谷川会長
- ③ 第 15 回国際栄養士会議 DVD の鑑賞
- ④ 協賛会員による商品展示と紹介 三島食品・ヤクルト販売株式会社
- ⑤ 栄養改善奨励賞受賞から 1 題

「異物混入のない食事提供を目指して」 院栄養士協議会 行徳総合病院室賀由希子

- ⑥ ワークショップ 栄養士業務について

(4) 中堅役員研修会の開催

職域事務担当者会議には各協議会から中堅役員が多く集まることから総務部と協力して事務担当者研修会の午前中に研修会を開催した。

(5) 就職相談と支援

栄養士・管理栄養士の職域の拡大と福利の増進を図るとともに、社会の要請に対応するための就職相談と支援を行う方法について検討した。

無料職業相談所としての条件等の調査途中で、整備・実施には至らなかった。

(6) 「第 2 次組織強化長期計画」の推進と「第 3 次組織強化長期化計画」の作成

組織・財政問題検討委員会、職域協議会長会議、職域協議会組織担当者会議などにおいて計画の推進を周知して、計画の推進に努めた。

平成 22 年度に第 2 次組織強化長期化計画が終了することから、第 2 次計画のまとめと新たな 5 年間の計画を加えた「第 3 次組織強化長期化計画」を作成した。

(7) 公益社団法人への移行への対応

公益社団法人への移行に向けて準備を進めた。

広報部

機関誌「栄養千葉」「千葉県栄養士会雑誌」を発行し、各種事業の周知と組織の強化および会員の相互理解に役立つよう努めた。

また、テレホン栄養相談や、千葉日報「現代食事考」、インターネット・ホームページの運営などを通じて、県民の食生活の改善や健康づくりに関する情報提供の充実に努めた。

(1) 機関誌の発行

千葉県栄養士会の公益法人化への移行を踏まえ、今年度から会務報告と学術文や会員実践報告文とに分冊した。学術文・実践報告文等は「千葉県栄養士会雑誌」とし、内容を「編集企画委員会」で検討し発行した。会務報告が中心となる機関誌「栄養千葉」は、年間 3 回（第 105 号・106 号・107 号）発行し、105 号では、千葉県栄養士会法人設立

35周年記念特集を組んだ。

「千葉県栄養士会雑誌」(N01・No2・No3)はページ数が少ないため目立つようにカラー一紙にした。

(2) テレホン栄養相談の実施

9名のテレホン栄養相談者の協力を得て、毎週月曜日に県民対象に食生活全般に関する電話相談を44回実施し55件の相談を受けて対応した。

実施にあたっては、テレホン栄養相談担当者会議を9月と3月の2回開催し、担当者相互の共通理解を図った。

相談内容別相談者数

	糖尿病	高血圧	脂質異常症	肥満	アレルギー	貧血	骨粗鬆症	術後	食品	調理	その他	合計
男	0	0	2	1	0	0	0	0	5	2	6	16
女	3	4	3	2	0	0	2	0	12	4	9	39
計	3	4	5	3	0	0	2	0	18	6	16	57

(3) 広報活動の強化推進

「健康日本21」および「健康ちば21」などの国や県の健康づくり施策を踏まえ、県民の食生活の改善及び健康増進思想の高揚に役立つ広報活動の強化に努めた。

① 現代食事考の掲載

千葉日報社の協力のもと平成22年度執筆計画に基づき、役員及び会員の協力を得て、千葉日報に健康づくりに関する記事を51回掲載し、県民の健康増進思想の高揚に努めた。平成21年度に掲載した52回分を冊子として作成し県内の関係機関に送付し本事業の広報と執筆担当者に配布して執筆内容の充実に役立てた。

② インターネット・ホームページによる情報の提供

会の活動状況や栄養士の職能団体として食生活の改善・健康づくりに役立つ情報の発信に努めた。

各職域協議会広報担当者にホームページ運営委員として協力を得て、協議会ページの充実に努めた。県民および会員に対し身近でリアルタイムな情報を提供するため運営委員会で班を組み、交代で月に1度、更新作業を行った。県民や会員がホームページを利用しやすいようにするためのトップページのリニューアルについて委員会を開催し検討中である。

③ 展示用パネルの作成と貸し出し

県内の各地域で行われる健康づくりに関する啓発事業の充実に側面から支援するため、千葉支部の協力を得て、パネルや食品模型の整備を行ってきた。今年度は「生

活習慣病を予防するための食生活」(6枚)と合わせ、催しの際に食生活相談コーナーと病態栄養相談コーナーに掲示するパネル(各3枚)を作成し、県内の食生活改善展示会などの開催時に、延べ11回にわたっての貸し出しを行い好評を得た。

平成22年度 収 支 計 算 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

I. 事業活動収支の部

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1. 事業活動収入						
入会金収入	入会金		200,000	152,000	48,000	152名分
			200,000	152,000	48,000	
		入会金	200,000	152,000	48,000	
会費収入	会費		27,820,000	26,440,000	1,380,000	行政198、病院529、学校755 福祉379、集権43、地活289、 研教56、2249+3(21年度) 4000×30
		正会員費	23,720,000	22,640,000	1,080,000	
		協賛会員費	4,100,000	3,800,000	300,000	
事業収入	大会事業収入		6,250,000	5,908,931	341,069	76口(21年分3口含む) 生涯学習、新人研修会 日菜3件、県1件他
		分担金	60,000	60,000	0	
	研修会事業収入	参加費	2,200,000	1,774,400	425,600	
		委託事業収入	2,690,000	3,113,141	△ 423,141	
		委託料	2,690,000	3,113,141	△ 423,141	
	栄養ケア・ステーション 事業費	栄養ケア・ステーション 事業費	1,300,000	961,390	338,610	
			1,300,000	961,390	338,610	
	事務所建設募金	事務所建設募金		100,000	251,500	
			100,000	251,500	△ 151,500	
事務所建設募金			100,000	251,500	△ 151,500	
雑収入	雑収入		304,000	451,225	△ 147,225	
			304,000	451,225	△ 147,225	
		預金利子	4,000	1,803	2,197	
		雑入	300,000	449,422	△ 149,422	
繰入金収入	柴田顕彰会基金		30,000	30,000	0	
			30,000	30,000	0	
		栄養改善奨励賞	30,000	30,000	0	
事業活動収入計			34,704,000	33,233,656	1,470,344	
2. 事業活動支出						
事業費支出	栄養改善大会費		20,452,222	19,217,028	1,235,194	テレホン、食育、フェスタ 1000円×2284人
		中央大会費	450,000	398,203	51,797	
		地方大会費	450,000	398,203	51,797	
			0	0	0	
	啓発普及費	栄養相談事業費	3,440,000	3,760,231	△ 320,231	
		印刷製本費	1,000,000	1,426,231	△ 426,231	
		千葉支部助成金	2,390,000	2,284,000	106,000	
			50,000	50,000	0	

研修会事業費		2,150,000	1,168,439	981,561	
	生涯学習研修会	1,500,000	687,266	812,734	
	新人研修会	200,000	90,787	109,213	
	栄養改善学会	450,000	390,386	59,614	
委託事業費		2,690,000	3,109,595	△ 419,595	
	日本栄養士会委託事業	1,110,000	1,075,002	34,998	
	千葉県委託事業	1,430,000	1,430,000	0	
	その他委託事業	150,000	604,593	△ 454,593	調理師会他1件
栄養ケアステーション		1,200,000	905,650	294,350	
事業費	栄養ケアステーション	1,200,000	905,650	294,350	
機関紙発行費		2,922,222	3,012,390	△ 90,168	
	印刷製本費	2,050,000	2,321,917	△ 271,917	栄養千葉、栄養士会雑誌
	通信費	750,000	579,800	170,200	
	原稿料	22,222	22,222	0	
	編集会議費	100,000	88,451	11,549	
栄養指導研究所運営費		430,000	10,520	419,480	
	会議費	10,000	8,120	1,880	
	事業費	400,000	0	400,000	
	雑費	20,000	2,400	17,600	
協議会事業費		7,170,000	6,852,000	318,000	
	協議会事業費	7,170,000	6,852,000	318,000	3000円×2284人

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	増減	備考
管理費支出	会議費		13,614,300	14,525,041	△ 910,741	
			1,200,000	1,335,639	△ 135,639	
		総会費	650,000	547,904	102,096	会場費、講師料他
		理事会費	150,000	184,235	△ 34,235	
		諸会議費	400,000	603,500	△ 203,500	
	法人運営費		380,000	470,018	△ 90,018	
		顕彰費	30,000	30,000	0	栄養改善奨励賞
		渉外費	350,000	440,018	△ 90,018	
	人件費		7,050,000	7,298,182	△ 248,182	
		給与・賞与	6,500,000	6,834,548	△ 334,548	
		交通費	350,000	311,234	38,766	
		賃金	80,000	32,400	47,600	
		退職積立金繰入	120,000	120,000	0	
	事務所費		1,850,000	1,776,673	73,327	
		賃借料	900,000	900,000	0	地代75000円×12ヶ月
		電話料	330,000	264,023	65,977	
		光熱水費	300,000	313,035	△ 13,035	
		防犯契約・火災保険	250,000	244,880	5,120	

	雑費	70,000	54,735	15,265	ごみ袋他
--	----	--------	--------	--------	------

需用費	旅費 印刷費 通信費 リース料 消耗品費	2,590,000	3,066,328	△ 476,328	コピー機、印刷機他
		150,000	141,200	8,800	
		120,000	272,362	△ 152,362	
		300,000	289,020	10,980	
		720,000	706,272	13,728	
		1,300,000	1,657,474	△ 357,474	
福利厚生費	福利厚生費	460,000	493,901	△ 33,901	
		460,000	493,901	△ 33,901	
租税公課	租税公課	84,300	84,300	0	
		84,300	84,300	0	
事業活動支出計		34,066,522	33,742,069	324,453	
事業活動収支差額		637,478	△ 508,413	1,145,891	

II. 投資活動収支の部

1. 投資活動収入					
投資活動収入計		0	0	0	
2. 投資活動支出					
固定資産取得支出	什器備品購入支出	什器備品購入支出	0	0	0
投資活動支出計		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	

III. 財務活動収支の部

1. 財務活動収入					
過年度職域協議会事業費戻入収入		0	3,480,382	△ 3,480,382	
財務活動収入計		0	3,480,382	△ 3,480,382	
2. 財務活動支出					
借入金返済支出	長期借入金返済支出	元金	507,132	515,584	△ 8,452
		利子	75,972	67,520	8,452
財務活動支出計		583,104	583,104	0	
財務活動収支差額		△ 583,104	2,897,278	△ 3,480,382	

IV. 予備支出					
当期収支差額		54,374	2,388,865	△ 2,334,491	
前期繰越金収支差額		4,146,248	4,146,248	0	
次期繰越金収支差額		4,200,622	6,535,113	△ 2,334,491	

特別会計

柴田顕彰会

平成22年度収支決算書

(平成22年4月1日から23年3月31日まで)

前年度繰越金	3,049,100 円
収 入	1,509 円
支 出	30,000 円
翌年度繰越金	3,020,609 円

財産管理の状況

普通預金(千葉信用金庫作草部支店 0686092)

3,020,609 円

収入の部

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越	3,049,100	
雑 収 入	1,509	預金利子
計	3,050,609	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
一般会計繰出金	30,000	栄養改善奨励賞
計	30,000	

収支計算総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日

科 目	一般会計	柴田顕彰会	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
入会金収入	152,000			152,000
会費収入	26,440,000			26,440,000
事業収入	5,908,931			5,908,931
雑収入	451,225	1,509		452,734
繰入金収入	30,000		30,000	0
事業活動収入計	32,982,156	1,509	30,000	32,953,665
2. 事業活動支出				
事業費支出	19,217,028			19,217,028
管理費支出	14,525,041			14,525,041
繰出金支出		30,000	30,000	0
事業活動支出計	33,742,069	30,000	30,000	33,742,069
事業活動収支差額	△ 759,913	△ 28,491	0	△ 788,404
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
事務所建設募金	251,500			251,500
投資活動収入計	251,500			251,500
2. 投資活動支出				
固定資産取得支出	0			
投資活動支出計	0			0
投資活動収支差額	251,500			251,500
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
過年度職域協議会事業費戻入収	3,480,382			3,480,382
財務活動収入計	3,480,382			3,480,382
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	583,104			583,104
財務活動支出計	583,104			583,104
財務活動収支差額	2,897,278			2,897,278
当期収支差額	2,388,865	△ 28,491		2,360,374
前期繰越収支差額	4,146,248	3,049,100		7,195,348
次期繰越収支差額	6,535,113	3,020,609		9,555,722

貸 借 対 照 表

平成23年3月31日現在

一般会計

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,921,822	13,364,228	△ 1,442,406
未収金	1,430,000	1,532,410	△ 102,410
前払費用	61,000	160,210	△ 99,210
仮払金		8,500	△ 8,500
流動資産合計	13,412,822	15,065,348	△ 1,652,526
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	14,615,343	15,409,404	△ 794,061
定期預金	0	0	0
基本財産合計	14,615,343	15,409,404	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給与引当預金	1,324,158	0	1,324,158
医療機関栄養調査預金	800,003	0	800,003
公衆栄養活動研修預金	600,000	0	600,000
特定資産合計	2,724,161	0	2,724,161
(3) その他固定資産			
什器備品	206,836	769,422	△ 562,586
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	506,836	1,069,422	△ 562,586
固定資産合計	17,846,340	16,478,826	1,367,514
資産合計	31,259,162	31,544,174	△ 285,012
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	0	0	0
前受会費	4,937,140	9,550,030	△ 4,612,890
預り金	3,341,060	165,400	3,175,660
流動負債合計	8,278,200	9,715,430	△ 1,437,230
2. 固定負債			
長期借入金	1,933,368	2,448,952	△ 515,584
退職給与引当金	1,323,670	1,203,670	120,000
固定負債合計	3,257,038	3,652,622	△ 395,584
負債合計	11,535,238	13,368,052	△ 1,832,814
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産			
正味財産合計	19,723,924	18,176,122	1,547,802

負債及び正味財産合計	31,259,162	31,544,174	△ 285,012
------------	------------	------------	-----------

特別会計

柴田顕彰会貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

科目	当年度	前年度	増減
流動資産			
現金預金	3,020,609	3,049,100	△ 28,491
流動資産合計	3,020,609	3,049,100	△ 28,491

貸借対照表総括表

平成23年3月31日現在

科 目	一般会計	柴田顕彰会	合計
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,921,822	3,020,609	14,942,431
未収金	1,430,000		1,430,000
前払費用	61,000		61,000
仮払金	0		0
流動資産合計	13,412,822	3,020,609	16,433,431
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	14,615,343		14,615,343
定期預金	0		0
基本財産合計	14,615,343	0	14,615,343
(2) 特定資産			
退職給与引当預金	1,324,158		1,324,158
医療機関栄養調査預金	800,003		800,003
公衆栄養活動研修預金	600,000		600,000
特定資産合計	2,724,161		2,724,161
(3) その他固定資産			
什器備品	206,836		206,836
敷金・保証金	300,000		300,000
その他固定資産合計	506,836	0	506,836
固定資産合計	17,846,340	0	17,846,340
資産合計	31,259,162	3,020,609	34,279,771
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用			0
前受会費	4,937,140		4,937,140
預り金	3,341,060		3,341,060
流動負債合計	8,278,200		8,278,200
2. 固定負債			
長期借入金	1,933,368		1,933,368
退職給与引当金	1,323,670		1,323,670
固定負債合計	3,257,038		3,257,038
負債合計	11,535,238		11,535,238

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

一般会計

科 目	金 額		参 考
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金手許有高	298,694		内職域協議会87,279円
千葉銀行みつわ台支店			
普2006576	187,379		
普2020609	108,856		
普3192700	98		
普3409598	205,791		
千葉銀行茂原東支店			
普2117062	657,266		行政
千葉銀行君津支店			
普3677832	545		学校
千葉銀行松ヶ丘支店			
普3335507	258,913		福祉
千葉銀行			
普3006299	124,502		千葉支部
千葉信用金庫作草部支店			
普0682242	57,962		
普0685151	122,354		
郵便預金			
10580-15293221	0		
10570-30174421	9,804		
10520-49676711	126,387		病院
10550-52137101	293,977		集健
10520-54350591	305,499		地活
10550-67084701	157,938		研教
郵便振替口座			
00110-7-779711	157,724		
00180-2-94011	8,210,109		
00180-0-576091	638,024		
現金預金合計	11,921,822		内職域協議会2,012,306円
(2) その他の流動資産			
未収金	1,430,000		千葉県委託料
前払金	61,000		防犯契約料、セミナー
仮払金	0		
その他の合計	1,491,000		
流動資産合計		13,412,822	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	14,615,343		建物の所在地、千葉市若葉区殿台町122
定期預金	0		
基本財産合計	14,615,343		
(2) 特定資産			
郵便貯金			
10560-18674641	1,324,158		退職給付引当資産
10520-54350591	600,000		全国地域活動栄養士協議会研修会積立金
千葉銀行			
普1192366	800,003		県内医療機関栄養業務調査積立金
特定資産合計	2,724,161		
(2) その他固定資産			
什器備品	206,836		
敷金・保証金	300,000		千葉市若葉区殿台町紅谷正男氏
その他固定資産合計	506,836		
固定資産合計		17,846,340	
資産合計		31,259,162	
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	0		
前受会費	4,937,140		
預り金	3,341,060		
流動負債合計		8,278,200	
2. 固定負債			
長期借入金	1,933,368		千葉信用金庫作草部支店
退職給与引当金	1,323,670		
固定負債合計		3,257,038	
負債合計		11,535,238	
正味財産		19,723,924	

正味財産増減計算書
平成22年4月1日から23年3月31日まで

一般会計

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入会金収入	[152,000]	158,000	[△ 6,000]
入会金収入	(152,000)	158,000	(△ 6,000)
会費収入	[26,440,000]	26,730,000	[△ 290,000]
正会員費	(22,640,000)	22,980,000	(△ 340,000)
協賛会費収入	(3,800,000)	3,750,000	(50,000)
事業収入	[5,908,931]	6,340,864	[△ 431,933]
大会事業収入	(60,000)	60,000	(0)
研修事業収入	(1,774,400)	3,098,600	(△ 1,324,200)
委託事業収入	(3,113,141)	2,376,500	(736,641)
栄養ケアステーション	(961,390)	805,764	(155,626)
雑収入	[451,225]	296,656	[154,569]
雑収入	(451,225)	296,656	(154,569)
他会計繰入金	[30,000]	40,000	[△ 10,000]
他会計繰入金	(30,000)	40,000	(△ 10,000)
経常収益計	32,982,156	33,565,520	△ 583,364
(2) 経常費用			
事業費	[19,217,028]	19,030,433	[186,595]
栄養改善大会費	(398,203)	701,368	(△ 303,165)
中央大会費	398,203	400,843	△ 2,640
地方大会費	0	300,525	△ 300,525
啓発普及費	(3,760,231)	3,229,550	(530,681)
栄養相談事業費	1,426,231	861,550	564,681
印刷製本費	2,284,000	2,318,000	△ 34,000
千葉支部助成金	50,000	50,000	0
研修事業費	(1,168,439)	2,139,496	(△ 971,057)
生涯学習研修会	687,266	777,052	△ 89,786
食生活改善担当者研修会		0	0
保健指導担当者研修会		881,906	△ 881,906
新人研修会	90,787	77,750	13,037
栄養改善学会	390,386	402,788	△ 12,402
委託事業	(3,109,595)	2,275,566	(834,029)
日本栄養士会委託事業	1,075,002	300,000	775,002
千葉県委託事業	1,430,000	1,430,000	0
その他委託事業	604,593	545,566	59,027
栄養ケアステーション	(905,650)	753,677	151,973
栄養ケアステーション事業	905,650	753,677	151,973
機関紙発行費	(3,012,390)	2,954,696	(57,694)
印刷製本費	2,321,917	2,118,375	203,542
通信費	579,800	725,940	△ 146,140
原稿料	22,222	22,222	0
編集会議費	88,451	88,159	292
栄養指導研究所運営費	(10,520)	22,080	(△ 11,560)
会議費	8,120	6,080	2,040
事業費	0	0	0
雑費	2,400	16,000	△ 13,600
協議会事業費	(6,852,000)	6,954,000	(△ 102,000)
協議会事業費	6,852,000	6,954,000	△ 102,000
管理費	[15,543,866]	14,368,715	[1,175,151]
会議費	(1,335,639)	1,115,151	(220,488)
総会費	547,904	617,091	△ 69,187
理事会費	184,235	137,215	47,020
諸会議費	603,500	360,845	242,655
法人運営費	(470,018)	502,732	(△ 32,714)
渉外費	440,018	462,732	△ 22,714
顕彰費	30,000	40,000	△ 10,000
人件費	(7,298,182)	7,113,394	(184,788)
給与・賞与	6,834,548	6,571,816	262,732
交通費	311,234	335,178	△ 23,944
賃金	32,400	86,400	△ 54,000
退職積立金繰入	120,000	120,000	0
事務所費	(1,776,673)	1,828,547	(△ 51,874)
賃借料	900,000	900,000	0
電話料	264,023	328,825	△ 64,802
光熱水費	313,035	292,454	20,581
防犯契約・火災保険	244,880	244,395	485
雑費	54,735	62,873	△ 8,138
需用費	(3,066,328)	2,314,359	(751,969)
旅費	141,200	170,640	△ 29,440
印刷費	272,362	105,682	166,680
通信費	289,020	286,989	2,031
リース料	706,272	719,712	△ 13,440
消耗品費	1,657,474	1,031,336	626,138
福利厚生費	(493,901)	457,712	(36,189)
福利厚生費	493,901	457,712	36,189
租税公課	(84,300)	84,300	(0)
租税公課	84,300	84,300	0
備品購費	()	0	(0)
減価償却費	(951,305)	869,765	(81,540)
支払利息	(67,520)	82,755	(△ 15,235)
経常費用計	34,760,894	33,399,148	1,361,746
当期経常増減額	△ 1,778,738	166,372	△ 1,945,110
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度職域協議会事業費戻入	3,480,382	0	3,480,382
事務所建設券金	251,500	60,000	191,500
経常外収益計	3,731,882	60,000	3,671,882
(2) 経常外費用			
過年度減価償却費	405,342		
経常外費用計	405,342	0	
当期経常外増減額	3,326,540	60,000	3,266,540
当期一般正味財産増減額	1,547,802	226,372	1,321,430
一般正味財産期首残高	18,176,122	17,949,750	226,372
一般正味財産期末残	19,723,924	18,176,122	1,547,802
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			

指定正味財產期首殘高			
指定正味財產期末殘高			
III 正味財產期末殘高	19,723,924	18,176,122	1,547,802

正味財産増減計算書総括表

平成22年4月1日から23年3月31日まで

科 目	一般会計	柴田顕彰会	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入会金収入	152,000		152,000
会費収入	26,440,000		26,440,000
事業収入	5,908,931		5,908,931
雑収入	451,225	1,509	452,734
他会計繰入金	30,000		30,000
経常収益計	32,982,156	1,509	32,983,665
(2) 経常費用			
事業費	19,217,028		19,217,028
管理費	15,543,866		15,543,866
他会計繰出金		30,000	30,000
経常費用計	34,760,894	30,000	34,790,894
当期経常増減額	△ 1,778,738	△ 28,491	△ 1,807,229
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度職域協議会事業費戻入	3,480,382		3,480,382
事務所建設募金	251,500		251,500
経常外収益計	3,731,882		3,731,882
(2) 経常外費用			
過年度減価償却費	405,342		405,342
経常外費用計	405,342		405,342
当期経常外増減額	3,326,540		3,326,540
当期一般正味財産増減額	1,547,802	△ 28,491	1,519,311
一般正味財産期首残高	18,176,122	3,049,100	21,225,222
一般正味財産期末残高	19,723,924	3,020,609	22,744,533
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期末残高			